

フレームラックOS 取扱説明書

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管してください。

20201027

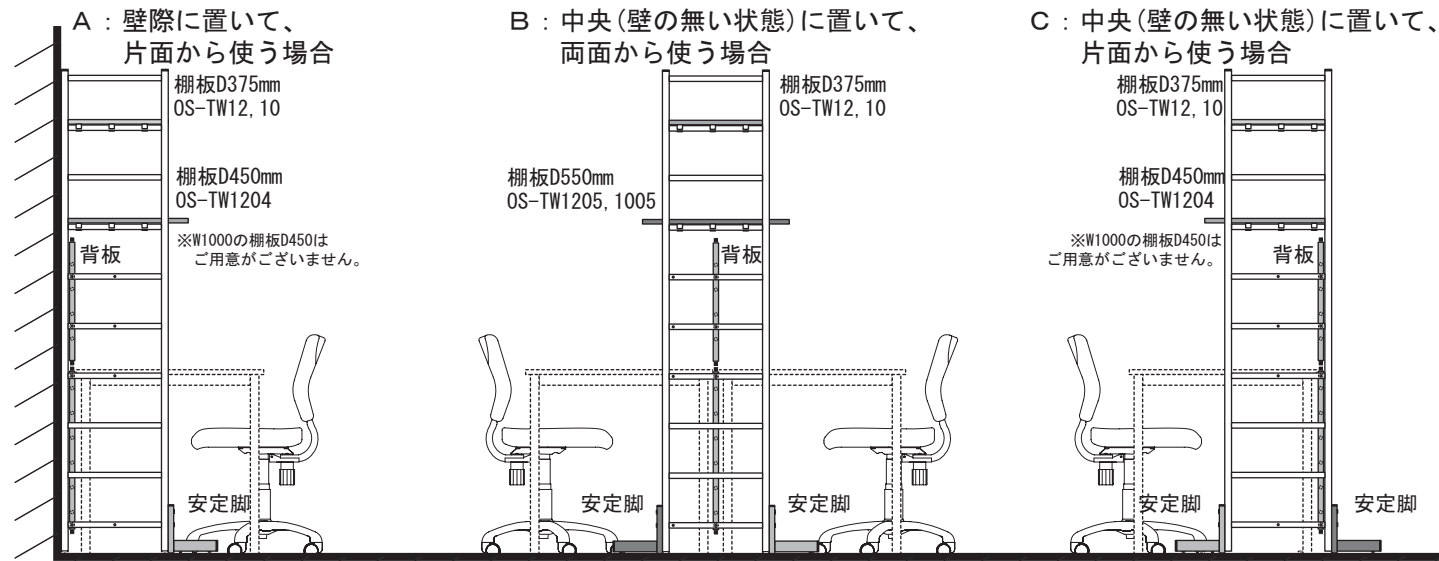


- 背板を使用して、デスク上の机上棚としてご使用の場合、ラックはデスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。
- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 棚板には登らないでください。棚板がはずれて転倒したりこわれてケガをすることがあります。
- 棚板には40kg以上の物をのせないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、毒物劇物等を含む薬品類、生き物など)を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
- 現金、証券等の貴重品は収納しないでください。鍵を壊されて盗まれることがあります。
- ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体がこわれてケガをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体がこわれてケガをすることがあります。
- 用途以外では使用しないでください。ケガをすることがあります。

背板を使用して、デスク上の机上棚としてご使用の場合、ラックはデスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。



一般のご注意

- 直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- 移動するときは二人以上で側板を持って、持ち上げてください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- 高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- 棚板等の上に水等をこぼしたら、ただちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれることがあります。



お手入れ方法

- ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
- 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った布などで拭いてください。
- 汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布などで拭いて洗剤を完全に取り除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。
ガラージお客様センター

Tel. 0120-331-753 10:00~12:00 13:00~17:00

(土日曜祝日、年末年始を除く)

品質表示

- 外形寸法
OS-BP12 (背板のみ) 幅1230mm×奥行き20mm×高さ1116mm
OS-BP10 (背板のみ) 幅1030mm×奥行き20mm×高さ1116mm
OS-SP18ARK (1ヶ) 幅20mm×奥行き184mm×高さ195mm
OS-TW1205 幅1265mm×奥行き550mm×高さ38mm
OS-TW1005 幅1065mm×奥行き550mm×高さ38mm
OS-TW1204 幅1265mm×奥行き450mm×高さ38mm
- 素材
背板、安定脚、棚下フレーム: 鋼製
棚板: 木製 (OS-TW1205/1005/1204)
- 取り扱い上の注意
直射日光又は熱を避けてください。
据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。
- 表示者 プラス株式会社ガラージ営業部
東京都千代田区九段北4-1-7

made in Taiwan

フレームラックOS 組立説明書

20201027

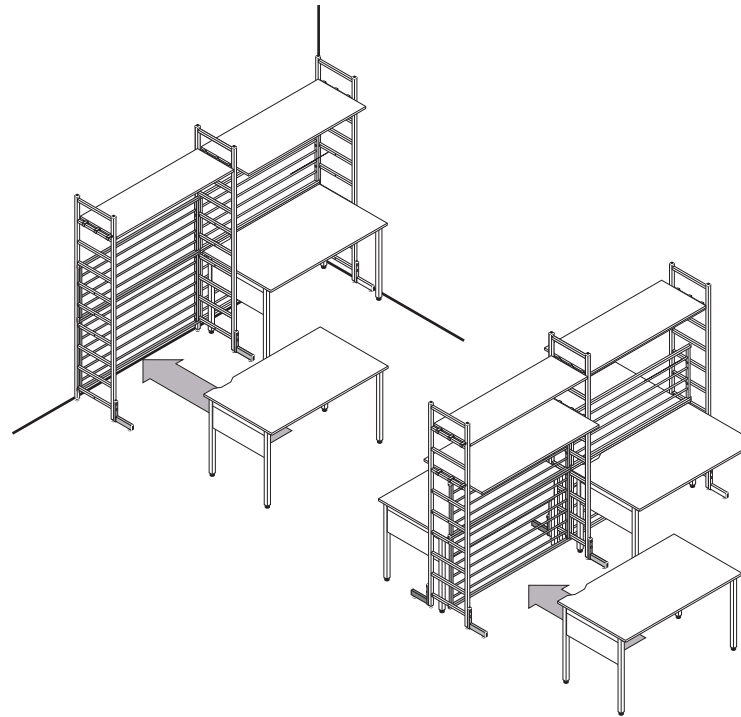
組立の前に必ずお読みください。
不適切な組立は事故につながる恐れがあります。
必ず二人以上で組立てください。



- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。



- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをすることがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組み立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをすることがあります。

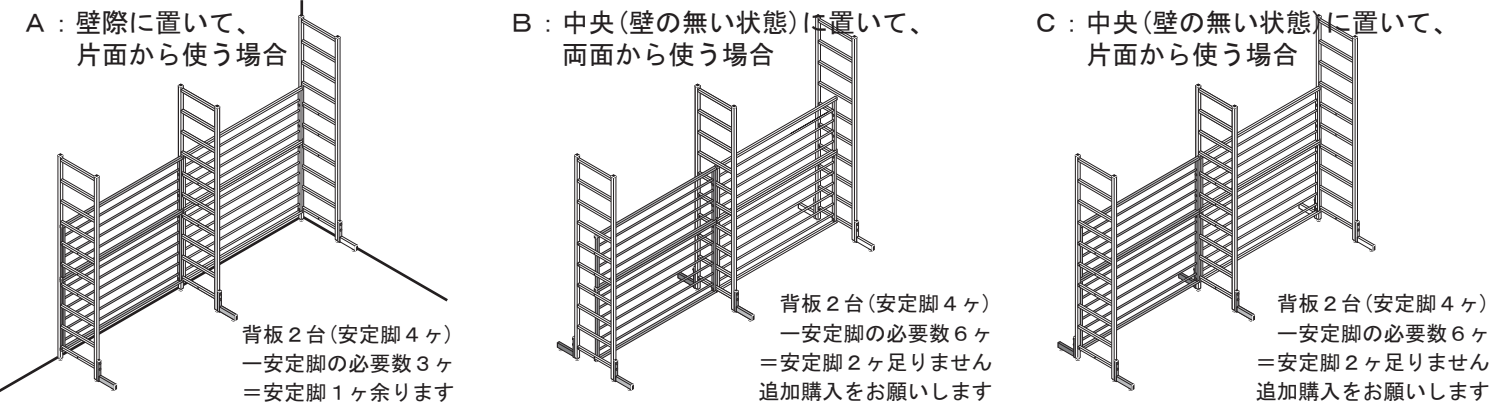


部材

最初に必要な部品が揃っているか確認してください。
似ている部品でも左右、上下で異なる場合がありますのでご注意ください。

BACK PANEL (背板)		LEG (安定脚)	RACK BOARD (棚板)	
OS-BP12	OS-BP10	OS-SP18ARK	OS-TW1205	OS-TW1005
OS-TW1204				
背板(上) 1枚	背板(下) 1枚	安定脚 (アジャスター付) 2ヶ	フレーム締結金具 6ヶ	フレーム締結金具 6ヶ
横パイプ(丸パイプ)が4本の物が、背板上で、6本の物が背板下になります。		ボルト (M6*30) 4本	緩衝材不織布(白) 6枚+予備	緩衝材不織布(白) 6枚+予備
安定脚(アジャスター付) 2ヶ (OS-SP18ARKと同じ物です)		六角レンチ 1本	ボルト (M6*15) 6本	ボルト (M6*15) 6本
ボルト (M6*30) 15本			ボルト (M6*30) 6本	ボルト (M6*30) 6本
六角レンチ 1本			木棚板 1枚	木棚板 1枚
			棚フレーム 1ヶ	棚フレーム 1ヶ
			※組立用の六角レンチは、背プレスに付属しており、本製品には付属していません。	※組立用の六角レンチは、背プレスに付属しており、本製品には付属していません。

例えば、2連の場合の安定脚の数量



① 背板の上下を組み合せてます。

※背板は、強度部材ですので、必ずご使用ください。背板無しでは、ラックの強度ができません。

六角レンチ

M6ネジ穴 3カ所
貫通穴 3カ所
M6 x 30ネジ

背板(上)
背板(下)

六角レンチで、締めますが、側板との組立時に、ねじ穴を合わせやすいように、仮締めにします。

組み立てる際は、こちらを上にして、側板と組み合わせます。

② 使用方法を選び、安定脚、背板の取付位置を確認します。

A : 壁際に置いて、片面から使う場合

B : 中央(壁の無い状態)に置いて、両面から使う場合

C : 中央(壁の無い状態)に置いて、片面から使う場合は、背板を縦パイプ側のネジ穴に取り付け、安定脚は、1つの側板につき、2つ(両面)付けてください。

警告 デスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。

側面図

背板は、縦パイプ側のネジ穴に取り付けます。
背板取付用ネジ穴

安定脚は、背板1枚につき2ヶ付いていますが、2連以上の増連の場合、安定脚は、あまりが出ます。

安定脚

側面図

背板は、中央のネジ穴に取り付けます。
背板取付用ネジ穴

安定脚

側面図

安定脚は、必ず、1つの側板につき、2つ(前後両面)付けてください。

安定脚

側面図

安定脚は、必ず、1つの側板につき、2つ(両面)付けてください。

安定脚

警告 デスクとは固定せず、ラックの重心が上に上がっていますので、必ず、安定脚を取り付けてください。ラックが倒れてケガをすることがあります。

③ 安定脚を側板に取り付けます。

六角レンチ

1つの安定脚に、ネジを2カ所ずつ締めます。

ネジM6 x 30

六角レンチ

④ 側板と背板を組み立てます。

六角レンチ

側板の左右各4カ所ずつ、ネジを締めます。計8カ所

中間置きの場合の背板取付位置
壁際置きの場合の背板取付位置

この時に、ネジをしっかり締めてしまうと、棚板が入りにくい可能性がありますので、仮締めにしてください。

六角レンチ

① 基本的な組立方法は、プレス(筋交い)に同梱の組立説明書、及び左記背板の組立説明書をご参照ください。ここでは、それぞれに固有の部位のみを記述します。

② 棚フレームに緩衝材を貼り付けます。
(OS-TW1204/1205, 1005共通)

緩衝材不織布(白)

棚フレーム

棚フレームを裏返します。次に、緩衝材の不織布(白)の裏面の紙を不織布が剥がれないように注意して剥がします。そして、棚フレームの両サイドの4つのL字(コ字)金物部に図のように貼り付けます。

L字(コ字)金物部

緩衝材不織布

棚フレーム

棚フレームを正面から見た略図

③ 棚フレームの取付方を理解しましょう。

OSフレームラックは、横への増連が可能です。そのために、隣り合う棚フレームは、前後を互い違いに設置しなければなりません。

ラックを上から見た略図(幅方向の長さは省略しています)

OS-TW1205, 1005

OS-TW1204

棚フレーム

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です

棚板

棚板

側フレームへの取付前に、棚板を棚フレームに取り付けると、棚フレームが取り付けられなくなるので、必ず、先に棚フレームだけを側フレームに取り付けてください。

④ 棚フレームを取り付けます。

棚フレームの前後位置は、側フレームの縦柱の内側に、棚フレームの前後の角パイプが入っているように取り付けてください。

棚フレームの固定には、必ずフレーム締結金具をボルト(M6*15)にて締め付けてください。

側フレーム

フレーム締結金具

ボルト(M6*15)

棚フレーム

ボルト(M6*15)

フレーム締結金具

正面から見た略図

OS-TW1205, 1005

OS-TW1204

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です(OS-TW1005とは幅以外は共通です)

棚フレームは、OS-TW1204/TW1205と共通です(OS-TW1005とは幅以外は共通です)

棚板

棚板

ラックを上から見た略図(幅方向の長さは省略しています)

⑤ 設置場所に置き、背筋交い、背板、棚フレームのボルトを本締めして、アジャスター調整をします。

⑥ 木棚板を取り付けます。

木棚板(TW-1204)には前後があります。裏面の取付用ナットの位置が前後で違います。下図を見ながら、前後を確認して棚フレームに取り付けてください。

TW-1205, 1005については、両面(前後)から使えるために、前後の区別はありません。

OS-TW1204/1205, 1005は6カ所をボルトで締め込みます。

⑦ 最後に、全てのボルトが締まっているかを確認してから使用してください。

OS-TW1204

OS-TW1205, 1005

厚み2mmのエッチ材

厚み2mmのエッチ材

木棚板

棚フレーム

ボルト(M6*30)

30mm